

2006 年度

科目名 <p style="text-align: center;">保育原理</p>	対象学科、学年 文学部教福3回生 教育 教福3回生	担当者 <p style="text-align: center;">岩田 良子</p>
授業テーマ これからの乳幼児保育を考える。		
授業の概要と目標 最近の学校や施設、親と子、家庭をめぐるさまざまな問題をふまえ、保育・教育の原点に立ち返り、保育理論を総合的、体系的に学習する。できるだけ多くの実践事例を紹介して、保育・教育の具体的なイメージを培いつつ、実践の場に立てるように学んでいく。		
評価方法 学年末にレポート提出。また、毎時の授業においてコミュニケーションカードまたはミニレポートを提出してもらい、授業内容の理解度や授業の適切さを確認する。出席の回数も評価に加味する。		
テキスト 保育・教育ネオシリーズ 第2巻 保育原理	編集者 柴崎 正行	出版社 同文書院
参考書 保育・教育ネオシリーズ 第1巻 幼児教育の原理	編集者 岸井 勇雄	出版社 同文書院
授業スケジュール・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育原理とは・・・・・・・・・・・・・・・・基礎的な保育理論を総合的・体系的に学習する 2. 子ども観と子どもの権利・・・・・・・・子ども観・子どもの権利の歴史を踏まえて、子どもの権利を守る視点について考える 3. 保育思想に基づく保育施設の変遷・・・・・・・・保育の歴史から、現代の家族・社会と保育の課題を考える 3. 保育所と幼稚園の制度・・・・・・・・保育所・幼稚園の制度の比較 4. 保育所と幼稚園における保育の基本の理解 5. 子どもの遊びと総合的な指導 6. 子どもの発達と保育内容 (1)・・・・・・・・2歳児未満の発達と保育内容 7. 子どもの発達と保育内容 (2)・・・・・・・・2～3歳児の発達と保育内容 8. 子どもの発達と保育内容 (3)・・・・・・・・4～6歳児の発達と保育内容 9. 保育の計画と方法 (1)・・・・・・・・保育計画と方法の原理 10. 保育の計画と方法 (2)・・・・・・・・保育計画の意義と種類 11. 保育の計画と方法 (3)・・・・・・・・保育計画の作成と修正 12. 保育指導案の作成 (1)・・・・・・・・指導案が、いま、なぜ必要なのか 13. 保育指導案の作成 (2)・・・・・・・・指導案の種類と作成上の留意点 14. 保育内容の展開 (1)・・・・・・・・子どもの姿・ねらい・内容 15. 保育内容の展開 (2)・・・・・・・・環境の構成 16. 保育内容の展開 (3)・・・・・・・・保育者の援助 17. 保育の実際と評価 (1)・・・・・・・・実践例をもとに、保育の在り方を振り返る 18. 保育の実際と評価 (2)・・・・・・・・実践例をもとに、保育の在り方を振り返る 19. 園生活における健康や安全への配慮 (1)・・・・・・・・子どもの健康・安全を保障する方法・留意点についての理解 20. 園生活における健康や安全への配慮 (2)・・・・・・・・最近顕著にみられるアレルギー・SIDS・児童虐待・誘拐について 21. とともに育ち合う保育の視点と方法・・・・・・・・子どもは周りの人々とのかかわりによって育っていく 22. 障害のある友達とともに 23. 地域・家庭・異校種との連携の中で (1)・具体例をもとに、保育の在り方を考える 24. 地域・家庭・異校種との連携の中で (2)・具体例をもとに、保育の在り方を考える 25. レッジョ・エミリアの保育から学ぶもの・イタリアの小さな町の総合的な保育に学ぶ 26. 国際化、異文化、にふれる中で 27. 子育て支援と保育の方法 28. 世界の子育て、日本の子育て 29. 保育者に求められる専門性・・・・・・・・保育者に求められる資質とは 30. これからの保育の課題 		